

酪農学園大学 学術研究コレクション CLOVERの事例報告

2020年11月4日 図書館総合展 JPCOARフォーラム



酪農学園大学附属図書館 廣田政則

酪農学園大学

江別

札幌

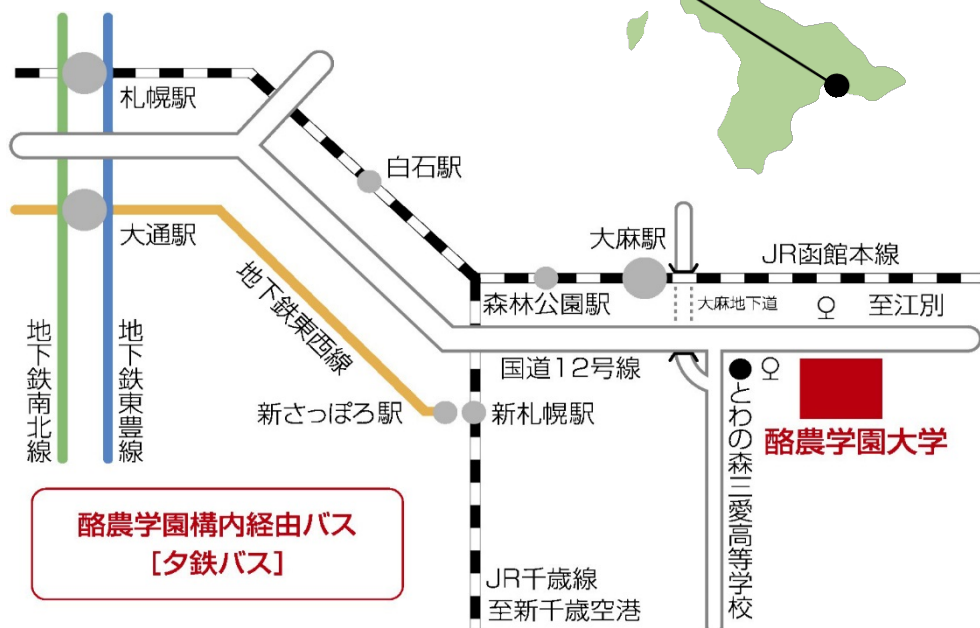
小樽

函館

旭川

釧路

新千歳空港



酪農学園構内経由バス
[夕鉄バス]

J R

新千歳空港→札幌駅	約40分(JR快速)
札幌駅→大麻駅(最寄駅)	約17分
大麻駅→酪農学園大学	約15分(徒歩)

バス

新さっぽろ駅(地下鉄)→酪農学園前 約15分(バス)

北海道立
野幌総合運動公園

道立自然公園
野幌森林公園
(約2000ha)

附属動物医療センター

講義棟・研究棟

希望寮(男子寮)

清温寮(女子寮)

附属図書館

作物生産ステーション

酪農生産ステーション

キャンパス面積
(約135ha:東京ドーム28個分以上)

学びの枠を超え、より広く、自由に自分の可能性を追求できる 学群・学類・コース制



酪農学園大学の機関リポジトリは、

学術研究コレクション CLOVER と呼んでいます。

牛から連想される
代表的な牧草にちなみ
命名されました

CLOVER 酪農学園大学学術研究コレクション
Collected Literature in Organized and Valuable Electronic Repository

WEKO

トップ ランキング

酪 検索

▶ 詳細検索 全文検索 キーワード検索

Language

日本語

インデックスツリー

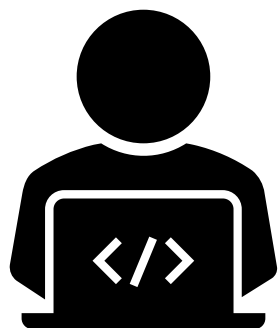
- 1: 大学
 - 1. 農食環境学群
 - 2. 獣医学群
- 2: 大学院
- 3: Research of One Health
- 4: 酪農学園大学紀要

インデックスリスト

- 1: 大学 [4224件]
- 2: 大学院 [154件]
- 3: Research of One Health [18件]
- 4: 酪農学園大学紀要 [1307件]

<https://rakuno.repo.nii.ac.jp/>

1. 大学教員



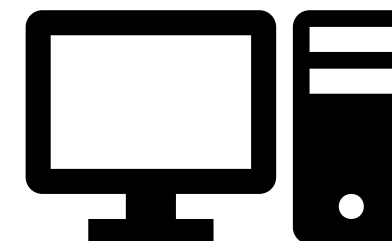
手入力



2. JST(科学技術振興機構)の研究者データベース

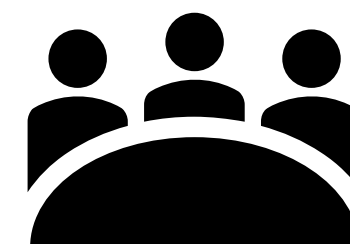
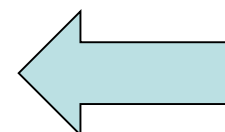
▶ researchmap

APIによる
自動連携



3. 教員総覧サーバ

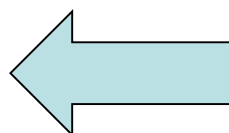
CSV出力



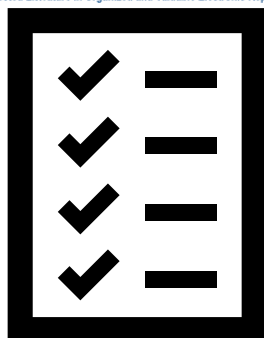
4. (株)アグレックス

- ・許諾取得
- ・論文入手
- ・掲載作業

手入力



CLOVER
Collected Literature in Organized and Valuable Electronic Repository



5. CLOVER (機関リポジトリ)

researchmapとは、JST(科学技術振興機構)が運用するデータベース型の研究者総覧です。

酪農学園大学では、全教員がresearchmapのアカウントを持っています。

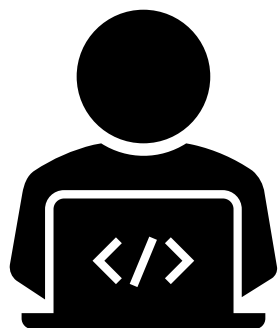
この業績入力に基づき、個人研究費の傾斜配分額が決まるため、入力拒否はありません。

<https://researchmap.jp/>



The screenshot shows the user profile page for Masanori Hirota (廣田 政則) on the researchmap platform. The profile includes a photo, name, and affiliation (ヒロタ マサノリ (Masanori Hirota)). The page is divided into sections for keywords, research fields, and social contribution activities. A sidebar menu on the left contains options like 'メニュー', 'マイポータル', '研究ブログ', '資料公開', and '参加コミュニティ一覧'. The main content area features a '外部システムからのデータ取り込み' (Data import from external systems) section with a list of links for DBLP, PubMed, ORCID, Web of Science, CINI Articles, arXiv, Scopus, and 医中誌Web. There is also a '書籍の取り込み' (Book import) section at the bottom.

1. 大学教員



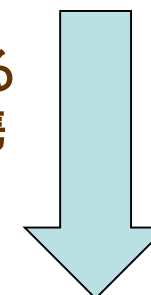
手入力



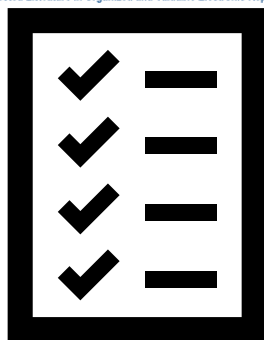
2. JST(科学技術振興機構)の 研究者データベース

▶ researchmap

APIによる
自動連携

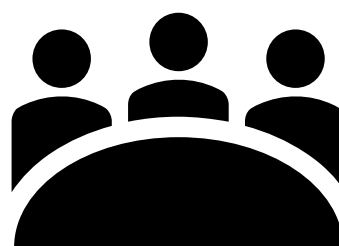
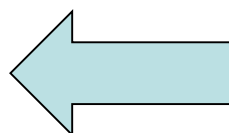


CLOVER
Collected Literature in Organized and Valuable Electronic Repository



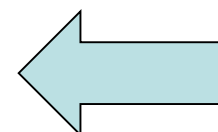
5. CLOVER
(機関リポジトリ)

手入力

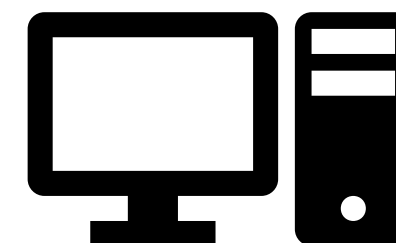


4. (株)アグレックス
・許諾取得
・論文入手
・掲載作業

CSV出力



3. 教員総覧サーバ



教員総覧サーバは、メディアフュージョン社の「MF教員業績管理システム ライトパック」を使用しています。

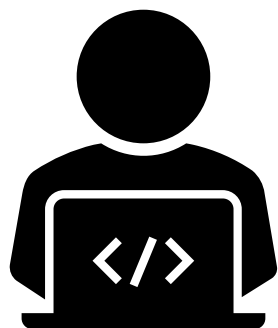
学外へ教員業績の公開を行うWebページです。



酪農学園大学教員総覧: <http://souran.rakuno.ac.jp/search/index.html>

参照: <https://www.mediafusion.co.jp/light/>

1. 大学教員



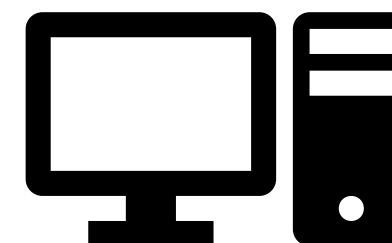
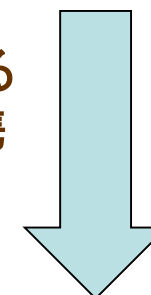
手入力



2. JST(科学技術振興機構)の研究者データベース

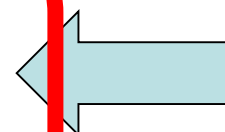
▶ researchmap

APIによる
自動連携



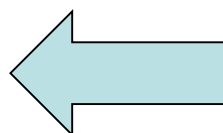
3. 教員総覧サーバ

CSV出力

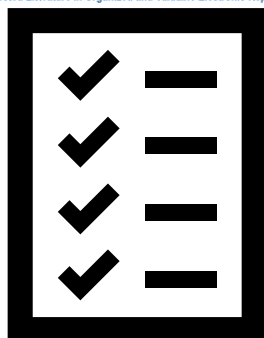


4. (株)アグレックス
- ・許諾取得
 - ・論文入手
 - ・掲載作業

手入力



CLOVER
Collected Literature in Organized and Valuable Electronic Repository



5. CLOVER (機関リポジトリ)

教員総覧から図書館職員がCSVデータ(論文・MISC)を出力します。

このCSVデータを(株)アグレックス札幌事業所へ送付し、
リポジトリ掲載許諾取得・掲載論文入手・CLOVERの登録を
依頼しています。

CSVデータに基づき、前年分について
総当りで出版社・学会へ許諾取得の依頼をかけ、
許諾を得られて論文入手ができたものを全て掲載しています。

(株)アグレックス: <https://www.agrex.co.jp/>

これらのやり方の組み合わせには、以下の特徴があります

1. 原則、前年の教員の業績は**全て CLOVER に掲載を試みる**

→ 許諾取得できないもの、論文入手できないものを除く

2. **費用負担が最低限に近い**

→ 教員総覧のサーバ・システム導入運営費、
(株) アグレックスへの委託費、JAIRO Cloud利用料

3. **手間があまりかからない**

→ リポジトリ転載の条件確認、許諾取得の交渉、
エンバーゴの管理、教員総覧サーバのメンテナンスは
学外の会社へ依頼している

論文数・掲載件数など（専任教員 約180名）

年度							(件)
	2014	2015	2016	2017	2018	2019	平均
全体件数 (重複なども含む)	450	575	588	597	691	436	556.2
登録 (メタデータ・PDF)	104	75	190	105	151	225	141.7
メタデータのみ登録 (許諾不可・返信無)	258	418	401	307	239	433	342.7
PDFのみ登録 (返信無がOKに)	4	3	26	2	0	2	6.2

※ 全体件数と登録などの件数合計が一致しないのは、
共著重複・前年分の作業・エンバーゴ・連絡先不明・教員退職などの要因による

※ 過去6年でPDF付きで登録したのは25%ほどで、残り75%は掲載許諾を得られず
ただし、学位論文・紀要論文は上記数値に含んでいない

このやり方が向いている（と思う）大学について

1. 理系で地方の大学

→ 理系だと英語論文の割合が相対的に多いと考える
例えば、北海道ならヒグマ、エゾシカ、タンチョウなど
その地域でしか研究できない材料があるのではないか？

2. 図書館の職員数が多くない大学

→ 外部DB・外部委託・自動化に頼らざるを得ず、
結果的に職員の業務負荷を考えなくてよくなった

3. 規模が大きくない大学

→ 独自のシステム開発を行う予算を捻出できなかったので
既存の外部データベースや委託会社を組み合わせた

ありがとうございました。

グリーンOAが、将来さらに身近になるように願っております。

ご参考になれば幸いです。



RAKUNO GAKUEN UNIVERSITY

酪農学園大学